

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

(令和7年8月29日発行)

1. 定点把握対象疾患の発生動向 ※栗原管内を含む大崎管内

上段は圏域全体で一週間に診断した患者数、下段は一つの定点(医療機関)あたり一週間に診断した患者数。*は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症。

疾 病		疫学週			
		31 週 7月28日 ~ 8月3日	32 週 8月4日 ~ 8月10日	33 週 8月11日 ~ 8月17日	34 週 8月18日 ~ 8月24日
急性呼吸器感染症(ARI)	急性呼吸器感染症(ARI)	505 101.00	521 104.20	139 27.80	505 101.00
	インフルエンザ *		1 0.20		
	新型コロナウイルス感染症 *	29 5.80	44 8.80	27 5.40	77 15.40
小児科 定点	RSウイルス感染症 *			1 0.33	1 0.33
	咽頭結膜熱 *	1 0.33		1 0.33	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 *	3 1.00	8 2.67	3 1.00	8 2.67
	感染性胃腸炎	5 1.67	6 2.00	3 1.00	6 2.00
	水痘		1 0.33		3 1.00
	手足口病	7 2.33	3 1.00		
	伝染性紅斑	23 7.67	16 5.33	10 3.33	18 6.00
	突発性発しん	3 1.00	3 1.00		3 1.00
	ヘルパンギーナ *	14 4.67	13 4.33	3 1.00	13 4.33
	流行性耳下腺炎				1 0.33
眼科 定点	急性出血性結膜炎				
	流行性角結膜炎				
基幹 定点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)				
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)				
	マイコプラズマ肺炎		3 3.00	1 1.00	2 2.00
	無菌性髄膜炎				
拡張 疾患	マイコプラズマ肺炎(小児科)	7	7	4	12
	川崎病	2	3	1	
	不明発疹症			1	

大崎保健所管内定点数:内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

2. 集団発生状況 ※栗原管内の過去2週間における保健所対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	—	○	—
備考		新型コロナウイルス感染症	

【海外渡航者に対する感染予防啓発情報】

厚生労働省検疫所
ホームページ
(FORTH)



3. 栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、—:対応無し

【全数報告疾病】※栗原管内

- なし

【定点把握対象疾患の発生動向】

※栗原管内を含む大崎管内

- 新型コロナウイルス感染症は県内全域で患者報告数が増加しています。
- 伝染性紅斑は高い水準で継続しており、警戒が必要です。
- マイコプラズマ肺炎は秋から冬に増加する傾向にある感染症です。第26週以降、患者報告数が多い傾向にあるため、今後の動向に注意してください。

【集団発生状況】※栗原管内

- 高齢者施設で新型コロナウイルス感染症の集団発生がありました。

【医療機関の皆様へ】

- 感染症法に基づく医師の届出は、令和5年から厚生労働省感染症サーベイランスシステムにより行うことになりました。(努力義務)
- システムの利用はアカウントの発行が必要です。右記QRコードからアクセスできます。

【感染症コラム～RSウイルス感染症～】

- RSウイルスを病原体とする、乳幼児に多く認められる急性呼吸器感染症です。2021年以降夏季を中心に流行しています。生後1歳までに50%以上が、2歳までにほぼ100%の人がRSウイルスに感染するといわれています。
- 初感染の場合、乳幼児の約7割は軽症で数日のうちに軽快しますが、約3割では咳が悪化し、喘鳴(ゼーゼーと呼吸しにくくなること)や呼吸困難、さらに気管支炎の症状が増加します。呼吸が苦しそう、食事・水分摂取ができない時は医療機関の受診を検討してください。
- 特効薬はなく、基本的に対症療法が行われます。
- 主な感染経路は、患者の咳やくしゃみなどによる飛沫感染と、ウイルスの付着した手指や物品等を介した接触感染です。
- 飛沫感染対策としてのマスク着用や咳エチケット、接触感染対策としての手洗いや手指衛生といった基本的な対策を徹底することが大切です。

アカウント発行 システムログイン



大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 ☎0228-22-7594